

詩情ゆたかな老若男女相集い、Face to Faceを大切に！

おしゃべりサロン「相互塾」

『日本人の感性が愛する四季折々の五七五の世界』

後援：調布市社会福祉協議会

寺子屋風井戸端会議

(114回)



日 時：平成21年7月26日(日) 午後2時～4時30分

場 所：調布市総合福祉センター2階 202会議室(グリーンホール南隣)

定 員：当日先着70名

お話：俳句よもやま話

佐々木俊介さん サンシティ調布句会指導

願わくは花の下にて春死なん その如月のもち月のころ(西行)

五月雨や 大河を前に 家二軒(蕪村)

この二つの名歌・名句を比べてみると、前者は通常のコミュニケーションに必要な1H4W(誰が・いつ・どこで・何を・どのように)の条件が充たされております。一方、後者では四つの単語が三つの助詞でつながれているだけですが、意味は十分に理解されております。

たった十七文字しかない俳句は、和歌と違って「思いを述べる」のにふさわしい器ではありません。思いを直接述べず、<モノ>に託して表し、あとの解釈は読み手に任せてしまう、それが俳句の基本です。

換言すれば、「寄物陳思の文芸」と言われ、作句の上では、主情を直接述べるものでなく、<モノ>に語らせることが大切とされております。それは俳句が、「くどくどと言葉で説明するには、あまりにも小さな詩型」であるからです。

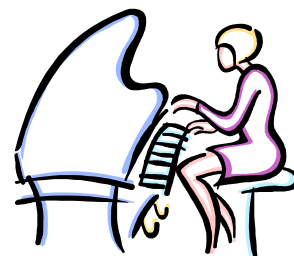
俳句は<饒舌をきらう無口の文芸>なのです。

音楽を楽しみましょう：

江藤裕子さんのピアノ演奏を聴き、

皆さんの気持ちが和むように、

歌も唄ってみませんか。



最後に、佐々木さん、江藤さんを交えた、参加者の懇談交流の場：
忌憚のないご意見などで、なにかが生まれる場にしましょう。



会場に「相互塾」関連の運営費(資料、チラシ、ポスター、会場、プレゼン機材など)のために『カンパ』の箱を置いています。ご協力をお願いします。

主 催：特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

連絡先：森下 政信 (TEL&FAX 483-9993)

E-mail mmanob@sepia.ocn.ne.jp

(ウラへ続く)

「相互塾」これからの予定

	月日	曜日	テーマ(仮題)	語り手
第115回	8月8日	土	私の戦場体験	体験者複数の方を計画しています
第116回	9月27日	日	甲州街道:布田五宿ほか	小野崎満(調布市郷土博物館館長)
第117回	10月24日	土	調布市民放送局のめざすもの	調布市民放送局の皆さん
第118回	11月29日	日	子どもたちの遊びと勉強~数援隊と親子塾	森下政信 鷓飼雅子
第119回	12月19日	土	検討中	折衝中

第101回以降の「相互塾」は模様替えしました。「相互塾」の本来の目的である3世代交流に向けて休日(毎月最終の日曜を予定)午後の時間帯に変え、参加しやすくしました。またリラックスした雰囲気を作るため楽器演奏と井戸端会議風のレイアウトにして、文字通りのおしゃべりサロンにしました。お子さん、お孫さんも一緒にお願いします。

「企画ミーティング」に参加、大歓迎です。「相互塾」のテーマの選択をはじめ、様々なサロンづくりについて話し合っています。どなたでも出席OKです。調布を住み良い街にするために力を貸してください。会場は総合福祉センターの201会議室(確認お願い)で、午後7時より。開催日は、7月21日(火)、8月25日(火)、9月15日(火)です。何か楽しいことをやって見たいと思っている方、新しい顔の方を歓迎します。とにかく出かけて来てみてください。

「数援隊(数学支援隊)」及び「数学おあそびサロン」:数援隊は調布の二つの中学校に数学授業の応援に行っています。放課後の補習学習の協力と数学の授業の補助です。「数学おあそびサロン」は、「教育会館」にて数学好きになりたい小5、6中高生向けに毎月第4日曜午前10時より開いています。また一般の人の数学談義を月1回、国領駅北側「あくろす」2階にて開催しています。いずれの場合も参加者を探しています。どうぞお越しください。(森下・483-9993)

「午後のティーサロン~音楽&映画への語らい~」:お茶を飲みながら、音楽と映像を語り合しましょう。8月9日(日)、10月に開催します。午後1時半より文化会館たづくり 10階が会場です。隔月に開催しています。(お茶・資料代として300円をお願いします)。

おしゃべりサロン「相互塾」、「午後のティーサロン」などの開催案内チラシを置いていただいている場所

各図書館(分館を含む)、総合福祉センター、社会福祉協議会、3公民館、各地域福祉センター、たづくり生涯学習情報コーナー、あくろす3階男女共同参画推進センター、あくろす2階市民活動支援センター、郷土博物館、武者小路実篤記念館、各児童館、学童クラブ、YWCA国領センター、子ども家庭支援センターすこやか、総合体育館、ちょうふだぞう、クッキングハウス、ゆうあい福祉公社

最近のテーマ 注:()のない人は調布まちづくりの会会員です。

第104回	9月27日	伊賀隠密の給地もあった「野川 佐須の歴史野話」	高本政俊(先人の歴史を考える会代表)
第105回	10月25日	女性にとって/男性にとってのワークライフ・バランス	柏木恵子(東京女子大学名誉教授)
第106回	11月30日	オリンピック選手を育てること	金子日出澄(クラブ代表)
第107回	12月20日	親子まつりって知っていますか?	渡邊 伸(親子まつり副実行委員長)
第108回	1月24日	若者が創る四季折々のまちづくり	大河紗耶(じんだいNET代表)
第109回	2月28日	世界遺産、そのロマン~番組制作裏話~	三宅民夫(NHKアナウンサー)
第110回	3月29日	戦時中來日した留学生の一人として	藤野平陸(元NHKアナウンサー)
第111回	4月26日	薩摩琵琶について	岩崎玄龍(日本琵琶楽協会常任理事)
第112回	5月31日	今の子供達の心を見つめて下さい	星 一郎(わいわいギルド代表)
第113回	6月28日	尊い命を掌であたためて	枝璃真子(シンガーソングライター)

NPO法人 調布まちづくりの会 (新入会歓迎)

〒182-0023 調布市染地3-1-19 八-3-510

TEL&FAX: 042-488-4022、E-mail: mail@machikai.org

ホームページ: <http://www.machikai.org/>

調布まちづくりの会 は「市民の手でまちづくりを」という思いから、その前身は1996年に発足しました。2000年4月には特定非営利活動法人として、新たにスタートし、「住み続けたい緑につつまれるまち調布」実現のため、調査研究や、提言、情報提供などを行い、だれでもが参加できる開かれた自主活動グループです。会員相互の交流はもとより市民との交流の一環として、シンポジウムやまち歩きなども行っています。

